

MINI MINIMINI MINIES

第3回 阿仁伝承館・鉱業博物館 連携展

道

～ 米の道・炭の道・銅の道～
が支えた 阿仁 鉱山 銅の道



場 所 : 阿仁郷土文化保存伝承館

北秋田市阿仁鉱山字下新町41-22 TEL: 0186-82-3658

開催日程 : 平成26年11月7日(金)～平成27年1月18日(日)

(12月29日(月)～翌年1月3日(土)は休館)

開館時間 : 9:00～17:00 (月曜休館、ただし祝日の場合は開館し、翌日休館)

入館料 : 大人400円 高校・大学生300円 小・中学生200円

(団体15名以上 それぞれ100円引き ★北秋田市内の小・中学生は無料)

監修者 今井忠男教授による **ギャラリートーク**

日 付 : 平成26年11月7日(金) 13:30～

案内人 : 今井 忠男 秋田大学国際資源学部教授

場 所 : 阿仁郷土文化保存伝承館

入館料のみで
どなた様でも
聴講いただけます。
予約は不要です。
ぜひご参加ください。

当館と阿仁伝承館との第3回連携展「道が支えた阿仁鉱山～米の道・炭の道・銅の道～」を開催いたします。

阿仁には6つの代表的鉱山があり(阿仁六ヶ山)、それぞれ小沢山、真木沢山、三枚山、一ノ又山、二ノ又山、萱草山と呼ばれていました。

それぞれの鉱山は、はじめ川あるいは沢の露頭として発見され、その後、上流に向かって開発が進みました。これらの川や沢は、鉱山の重要な運搬道として発達し、阿仁の鉱山集落を形成していきました。

今回の連携展では古くから鉱山町として栄えた阿仁地域の鉱山施設や生活に必要な施設がどこに存在したのか、阿仁六ヶ山に阿仁向山鉱山を加えた7枚の古い絵図を解説し現在の地図とリンクさせて紹介していきます。またオリジナルのルートマップを作成し、過去と現在の阿仁の違いを実際に感じることができる展示となっています。ぜひ阿仁に足をお運びください。



道が支えた阿仁鉱山
— 米の道、炭の道、銅の道 —

期間 平成26年11月7日(金)～平成27年1月18日(日)

展示会場 阿仁郷土文化保存伝承館 秋田県阿仁郡阿仁町下新町41-22 TEL: 0186-82-3658

開館時間: 9:00～17:00
休館日: 月曜(阿仁郷土文化保存伝承館は火曜)
12月29日(月)～翌年1月3日(土)

入館料: 大人400円 高校・大学生300円
小・中学生200円 北秋田市内の小・中学生は無料
団体15名以上、それぞれ100円引き

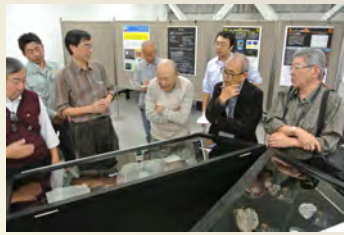
ギャラリートーク
13:30～15:00
阿仁郷土文化保存伝承館 阿仁伝承館 阿仁郷土文化保存伝承館 阿仁郷土文化保存伝承館 阿仁郷土文化保存伝承館

平成26年度 第3回 阿仁伝承館・秋田大学連携展
道が支えた阿仁鉱山 — 米の道、炭の道、銅の道 —
[開催期間: 平成26年11月7日(金)～平成27年1月18日(日)]

鉱山の開拓は谷・沢・川に沿って

阿仁には6つの鉱区があり「阿仁六ヶ山」、それぞれ小沢山、真木沢山、三枚山、一ノ又山、二ノ又山、萱草山と呼ばれていました。それぞれ発見は、はじめ川あるいは沢の露頭として発見され、その後、上流に向かって開発が進みました。これらの川や沢は、鉱山の重要な運搬道として発達し、阿仁の鉱山集落を形成していきました。

阿仁郷土文化保存伝承館 阿仁伝承館 阿仁郷土文化保存伝承館 阿仁郷土文化保存伝承館 阿仁郷土文化保存伝承館



国民文化祭・あきた2014
平成26年10月4日(土)～11月30日(日)

平成二十六年第一回 鉱業博物館企画展
レアアース資源
先端技術を支えるビタミン

特別講演会
どなたでも聴講いただけます。
入場無料(講演料は別途) 会場: 秋田大学
講演者: 「レアアース資源」
先端技術を支えるビタミン
講演者: 渡辺 寧 先生

日程: 10月26日(日) 13:00～14:00
場所: 鉱業博物館 講堂

平成26年
10月4日(土)～11月30日(日)

秋田大学 鉱業博物館
国際資源学部附属
〒010-8502 秋田県秋田市手形字大沢28-2 TEL: 018-889-2461 FAX: 018-889-2465
URL: http://www.mus.akita-u.ac.jp
※開館時間: 午前9時～午後5時(最終入館は午後4時30分)

展示解説では、展示しているレアアースを含有する鉱物・鉱石、その生産の現状や背景などを交えての話を聞きました。本企画展ではレアアースが添加されたことによって非常に強力な磁力を持つネオジム磁石、それを用いたハイブリッドカーのモーター、普段目にするもののな



企画展の監修を勤められた渡辺 寧 国際資源学部教授

平成26年度第一回 鉱業博物館企画展「レアアース資源―先端技術を支えるビタミン―」を開催するにあたり、秋田大学や当館の関係者に向けた事前説明会が10月3日(金)に開催されました。説明会には平日の日中でありながら大勢の方々が聴講に來られ、監修者の渡辺教授による解説に聞き入っていました。

レアアース資源 事前説明会レポート

次回は10月26日(日)に開催されました特別講演会のレポートを掲載します。

文化を
化す
る
G
u
i
d
e
k
B

国民文化祭あきた2014

文化を化するガイドブック

第29回国民文化祭あきた2014の連携を記念して、国民文化祭公式ガイドブックをご持参いただいた方にプレゼントを配布いたします。マンガノジュールと呼ばれる深海4,000mから採取されたとても貴重なものです。次回からご利用いただける無料入館券も同時にプレゼントしておりますので、ぜひガイドブックをお持ちになってこ館ください!

プレゼント配布中!

第29回国民文化祭あきた2014の連携を記念して、国民文化祭公式ガイドブックをご持参いただいた方にプレゼントを配布いたします。マンガノジュールと呼ばれる深海4,000mから採取されたとても貴重なものです。次回からご利用いただける無料入館券も同時にプレゼントしておりますので、ぜひガイドブックをお持ちになってこ館ください!

い石油を精製するための触媒など様々な具体例を展示しています。それらについても、こういったレアアースが利用されているのかを交えながら詳しく解説されました。

本企画展は11月30日(日)まで開催しております。世界中の鉱山などを巡り最先端の研究を続けている成果を表した本企画展は、レアアースの発見、その抽出から利用まで一連の流れを系統的に展示しています。どうぞこの機会に私たちの生活の基礎を支える隠れたビタミンを見にいらしてください。

元最大の恐竜!?

10月の恐竜

体長約34cm

¥6,830

ブラキオサウルス
-Brachiosaurus-

ブラキオサウルスはジュラ紀後期に生息した、体長約25m、体高約15m程の大型草食恐竜です。かつては最大の恐竜と考えられていましたが、現在はアルゼンチノサウルスにその座を奪われています。5階建ての建物に及び体高を生かし、周囲の警戒や木の上の葉や新芽を食べ生活をしていたといわれています。敵に対しては巨大な尾を武器として使用したと考えられています。名前の意味は「腕トカゲ」です。

11月の恐竜

最硬の恐竜!?

体長約14cm

¥2,000

アンキロサウルス
-Ankylosaurus-

アンキロサウルスは白亜紀後期に生息した、体長約10mの鎧竜を代表する草食恐竜です。体は骨質化したスパイク状の皮膚に守られ、尾の先はハンマーのように膨らんだ骨となっています。装甲の内部は空洞となっており、見た目より動きは俊敏であったと考えられています。しかしその屈強そうな見た目とは裏腹に歯は非常に小さく、柔らかい葉などしか食べられなかったと考えられています。名前の意味は「強固トカゲ」です。

ミュージアムショップ
10月・11月の恐竜